

神保町レトロ建築さんぽ



世界最大の古書店街といわれる神田神保町。ここは東京大空襲でも奇跡的に戦火を免れ、「看板建築」など昭和初期の古い建物が残るまち。この界隈には出版社や大学も多く、「文化人のまち」として路地には老舗の喫茶店や飲食店も多く残り、昭和初期を偲ばせる魅力を醸しだしています。しかし、コロナ後や再開発などにより、その町並みも変わりつつあります。今回は、『民家』の編集長*がそのディープな世界へご案内します。是非ご参加ください。

(企画:『民家』企画編集委員会)

*平野薫:神保町勤務 26年、著書に『神保町おじさんぽ』

日時	3月28日(土)13:30~15:00頃(終了時間は多少変動あり)
場所	千代田区神田神保町・駿河台界隈
集合	13:30 (受付 13:15~)
参加費	地下鉄(半蔵門線、都営新宿線・三田線)神保町駅 A6出口(岩波神保町ビル脇) 一般 3,000円、JMRA会員 2,000円 (現地で集金、釣銭のないよう願います)
募集人数	15名(先着順 定員になり次第締切)
申込み	参加者一名ごとに、JMRAホームページ Google フォーム https://forms.gle/jVNqtKq7CM28iQZZ8 よりお申し込みください
その他	少雨決行、歩きやすい服装でご参加ください。
当日連絡先	参加者には別途お知らせ致します

